

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会が総会—運動の広がりを確認

結成 20 年を迎えた「保険で良い歯科医療を」全国連絡会が、11 月 10 日、東京都内で第 12 回総会を開催しました。総会には、千葉、東京、長野、愛知、大阪、兵庫、大分の各連絡会をはじめ 16 都府県から歯科医師、歯科技工士ら 41 人が参加しました。



活動方針案の提案をおこなった宇佐美宏「連絡会」代表世話人・保団連歯科代表は、保険で良い歯科医療の実現を求める運動に自らかかわってきた経験もふまえ、この運動の発展として、94 年の義歯点数の 40%引き上げの実現や、2000 年に「保険で良い歯科医療を」全国連絡会へ改称、発展し、地方連絡会組織の立ち上げと自治体意見書運動、市民向け取り組みが大きく前進していることなどを紹介。特にこの間の署名数が前進していることに触れ、その大きな要因として、高い窓口負担の解消が患者の強い要求であり、当面、連絡会としてもこの運動に力を入れていきたいと述べました。



討論では、イレバデーからイイハデーの取り組み、街頭宣伝やアンケート、他団体との共同、自治体意見書運動、歯科健診、歯の健康教室、出前学習会、市民向け公開講座、政策パンフ、ラジオ出演など、多彩な活動で歯科医療の大切さを訴えている活動が紹介されました。また、歯科医療の現状を打開するうえで、窓口負担軽減が重要な課題であることや連絡会として市民が気軽に参加できる活動なども提案されました。大阪連絡会の技工士さんからは技工士の置かれている深刻な状況が報告され、参加者からは、技工問題を重視し、今後も真剣に取り組んでいくことが強調されました。



総会では最後に、今後の運動方針として、幅広い市民、団体が参加する運動の具体化、次回診療報酬改定に向けこれまでにない規模で国会請願署名に取り組むことなどを確認しました。

